

王滝村 **議会** だより



夏山の幕開けを告げるアルプホルン（7月1日 御嶽山開山式）

元 年 6 月 定 例 会 概 要	・・・・・・・・	2P ～	3P
一 般 質 問	・・・・・・・・	4P ～	6P
木曽広域連合議会定例会報告他	・・・・・・・・	7P ～	8P

No. 1 4 5

令和元年度一般会計補正予算を可決

スキー場施設修繕費 70,392 千円

課設置条例可決 4 課から 3 課へ

6 月定例議会は 6 月 12 日に開会。2 日目を 19 日に行い、令和元年度一般会計補正予算を含む議案全てを原案通り可決し閉会した。

＜令和元年 6 月定例会一般会計補正予算概要＞

●一般会計補正予算（第 2 号）

歳入歳出ともに 8,176 万円を追加し総額 19 億 1,484 万円とするもの。

＜主な歳出＞

①保育園園庭への安全用フェンス設置工事費
385 万円

②消防団員の新たな基準活動服 133 万円

③スキー場シーズン終了後の施設点検結果に基づく第 4 ペアリフト D 線・第 5 クワッドリフト・第 7 クワッドリフト修繕費や部品代の計上、圧雪車夏期整備、降雪設備整備、圧雪車リース料
7,039 万円

④田の原観光施設指定管理料 300 万円

●田の原観光施設の指定管理者の指定

指定管理者は王滝村 3159 番地 3

木曽御嶽観光株式会社 代表取締役社長 西村祥夫

指定期間 令和元年 6 月 24 日から

令和元年 10 月 31 日まで



消防団春季訓練

《補正予算質疑》

問（胡桃澤） 消防費について、消防団の活動服基準が新しくなったことに伴い、新基準を満たした「難燃性・強度」を有する生地を着用した活動服を新しく整備することになるが、特殊な生地を使用していることから、夏はかなり暑いことが予想される。実際、広域消防では夏の暑さ対策として、保冷剤を多数装備しているようだが、夏の暑さ対策について何か考えはあるか。

答（総務課長） 現時点では特に考えてはいない。

問（胡桃澤） 確かに夏の火災等による活動は少ないが、関係者の意見も参考にして、必要があれば夏の暑さ対策についても対応するようお願いしたい。

答（総務課長） 整備後に対応したい。

問（胡桃澤） 小学校費の学校管理費について、75 万円の内訳を教えてください。

答（教育次長） 給食室に関する修繕費が合計で 197,000 円。学校ボイラーの修繕費が 221,000 円。学校体育館に関する修繕費で 236,400 円等である。

問（胡桃澤） 学校施設に関しては、築 30 年以上が経過し、元々経年劣化により修繕が必要だった箇所もいくつか見られる。本来であれば、故障以外の経年劣化によるものは、計画的修繕の中で当初予算に計上すべきものである。今後は可能な限り、そのようなものに関しては当初予算で計上するようお願いしたい。

問（吉田） スキー場に関わる索道、降雪設備、圧雪車、建物などの修繕費は、今後村はどういう形で負担していくのか。

答（総務課長） 非常に難しい問題であるが、指定管理料5000万円については、来年度の当初予算計上はする予定である。村としても体力的な限界もあるため、小規模修繕については極力指定管理料の中で対応してもらい、大規模なものについては、指定管理者と協議しながら進めざるを得ない。

問（吉田） スキー場の施設整備修繕に関して現状は、そのほとんどが日本ケーブル経由での発注となっていると思うが、索道はそれでよいとして、他の施設・設備に関しては、直接施工業者に発注したほうが、費用は抑えられると思うが、村としてはそういったことは可能か。

答（総務課長） 確かに、元受けを通さずに直接発注すれば、経費は抑えられる。ただし索道設備に関しては、安全が第一と考えており、今後も日本ケーブルにお願いしていくこととなる。それ以外の施設・設備に関しては、直接施工業者に発注していくことも検討する。

問（三浦清） 特別会計（観光施設会計・上下水道会等）国の方針で公営企業化に移行する流れとなっている。村としては、昔に戻す（特別会計・一般会計）考えは無いのか、小さな町村で、全国的に、対抗する考えは無いのか。

答（総務課長） 上下水道の法的化、全部適用は国の方針なので従わざるを得ない。また、観光施設会計は随分前から県にお願いしているが、今の段階では戻すことは厳しいのが現状である。

問（三浦清） 当然な答弁だと思う。それを乗り越えて全国の町村と共に何かやらなければならないと思う。前向きに進めてほしい。



問（三浦清） 観光施設指定管理料は、どの施設か。

答（総務課長） 観光センター・田の原山荘の建物2棟。

《課設置条例に関する質疑》

問（西村） 噴火以降、観光再生の端緒にすらついていないと思える状況の中で、村長の肝いりで作られた課をなくすことの意義と必要性は何か。

答（村長） 村おこし推進課は、地域おこし協力隊への対応と、当時下流域を中心とした外部との接触の機会が増えたことに対応するために作ったものである。当時とは状況が変化してきていること、今後の職員体制への対応も必要なことから課を減じるものである。

問（西村） 4月1日付で新規に2名任命し課長は4名となっている。ここで課を減らすことにより残る課長1名はどのようなになるのか。

答（村長） 人事は村長の専権事項である。今の段階では答弁できないが、2日目の19日には議会にお示ししたい。商工関係において、木曽おんたけ観光局との連携をより強固なものにしていきたいと考えている。

問（西村） 事情は理解しているが、課を減らしても係の数は変わっていない。各課長の負担は更に大きなものになっていくことが予想される。各課毎の横の連携がとれていないとの村民の批判もある中で、毎週月曜日に課長会議が開かれているが、慣例にこだわらず連携を密にしていきたいと思います。村長もリーダーシップを発揮してもらいたい。

問（吉田） 組織のコンパクト化はわかるが、係が増えているのではコンパクト化とは言えない。今後各係の機能強化をしていくのであれば、係の統合も進めるべきではないか。それについてはいつごろから取り組んでいくのか。

答（総務課長） 年度が改まったタイミングで、係の統合も進めていきたい。

問（三浦清） 他の課と重複している仕事が見受けられる。空欄の外郭団体は、知らないよ、と言う事か現状のとおり進めるのか。

答（総務課長） 基本的には、規則で定めているものをやる。事務分掌は、詳細に規則で定めていく。

一般質問「そこが知りたい」

本文は答弁も含め質問者の執筆をもとにしています

村長の病状について

三浦 征弘

1. 村長の病状について

問（三浦征） 村内には村長の病状について「職務遂行に不安—もう無理」の声があるが村長自身はどのように思っているか。

答（村長） 「辞めろ」の声があるかもしれないが（辞めず）「しっかり養生して頑張れ！」の声もある。

問（三浦征） 私は感情で判断しているのではない。議会議員の責務から発言している。あなたは政治から離れ養生した方が良くと思います。

2. 村長の中学校入学式欠席について

問（三浦征） 村長の入学式欠席は病気ではなかったという。入学式は村長の最大の公務。それに勝る仕事はどんなものだったか知りたい。

答（村長） 1年も前から約束していた公務と重なってしまった。

問（三浦征） それはおかしい。そんな公務は日時を変更すれば良い、あなたは村長だから。学校は村の基盤。それを欠席してまでやる公務はよほどのもの。

答（村長） 公務についての考えがあなたとは違っている。

3. 夏季の観光の活性について

問（三浦征）

1. 夏季の観光を村長はどのように考えているか 4期16年で何か自慢出来るものがあるか？

2. 松原スポーツ公園にある森林鉄道の完成を願う声は多い。そこに滝越にある学童列車を走らせる構想もそれには多額の経費がかかるがスキー場の投資を考えれば難しいことではない。知事に財政の陳情もすれば可能性は高い—と思うがこれ等

について村長はどう思うか。

3. 自然湖も全然手をかけないが村長はこれで良いと思っているか。

答（村おこし推進課長） 観光総合事務所の中で木曽町と連携をとりながらボランティアとして進める計画はある。

問（三浦征） 上松町は本物を立派に運営しているのに王滝村は玩具の様なものでも今だ完成しない。王滝村には見せる物は何にもない。恥ずかしいくらいだ。協議とか計画がある—と言うが結果が大事だ。スキー場一辺倒では村は良くならない。

4. 景観について

問（三浦征） 村の入口付近の景観が悪い。これが何年も続いている。この状況を村長は何とも思わないか。これはブラブラで端切れて汚い看板と草や藪で埋まった歓迎塔を言う。それをきれいにした後、近くの私有地（私有施設）が汚ければ「きれいにしてくれ」と役場はお願いすることだ。まず役場が先だ。

答（村おこし推進課長） そこには民地もあり民間のものがある。歓迎塔は観光総合事務所で建てたが今後のことは協議したいと思っている。決して何もなかったことではなかった。

問（三浦征） 協議ばかりではだめ、結果が大事だ。民間の物でも、民地であっても、汚いものには「きれいにしてくれ」とお願いする、それが行政の努めだ。東区には1年も前に倒れた木がそのままになっている。他にも汚いところが幾つもある。



春に行われた
村内美化清掃

ドローンを活用した村の活性化

三浦 清吉

1. ドローンを活用した村の活性化について

問（三浦清） 過日、松原スポーツ公園で、ドローンの実演講習会があり参加した。前々から機会があるごとに、是非導入を訴えていたが、この際導入を検討することはできないか。

①少し多く購入し、松原公園で、有料で講習会を行う。

②有害鳥獣サルの追い払い（ソフトも必要）

③スポーツの普及

④観光地の案内ビデオの作成に（学校のビデオCM大賞の作成など）

⑤災害時などのデーター作成

など多様に使用できると思うが。

答（村おこし推進課課長補佐） 実機購入の運用は、人材の育成が等難しい。場所の提供であれば、最適な場所として松原スポーツ公園を提供し誘客につなげる。行政として、災害時の活用は考えているが即時とは、財源等の問題もあるので、実現に向けての課題を整理し、今後検討していく。

問（三浦清） お金のことは、知恵を出せば出てくる。ぜひ実施してほしい

2. ふるさと納税とプレミアム商品券について

①4月22日にふるさと納税と、プレミアム商品券について提案したが6月定例会に回答頂くこととなっているお伺いします。

②県外分は0.66と率が良く発売2日で完売したようだが、購入者を村側で選定できることとする



ドローンの様々な活用が期待される

など何か良い方法は無いか。

③県外のプレミアム券の利用者の傾向、方法を提示してほしい。聞くところによると、想像もつかない使われ方があるようだ。このような事が起きないよう村民券も同じにすることが出来ないか伺います。

答（村おこし推進課長） 県外プレミアム券は211名購入、平均セット数9.5となる。中京圏60%、関西・関東がそれぞれ20%である。過去に、村・県外同率20%で行った結果売れ残った。したがって県外券は、誘客のため高い率とした。

ごく一部の村民が好ましくない使い方をしたのも事実であり、今後そのようなことがないよう進めていく。

水と緑のふるさと基金は、村が行いたい事業に、寄付者が事業化投資をするものである。思いのこもった寄付金に、返礼品は出さない。

問（三浦清） 過去の券はどの位の率か、効率で実施の場合の予想は付くか。（村民券も県外券と同じにならないか。）水と緑のふるさと納税にこだわらず、ふるさと納税、何にでも使えるものをぜひ実施して頂きたい。効率にすれば多くが売れる事と思う。村民向けも同率にすることも検討していただきたい。

答（村おこし推進課長） 議員の提案の券は考えていない。なお、寄付者の方にふるさと納税の情報はお知らせする。

3. 保育園からIT教育を

問（三浦清） ITを教えることで、教育の仕方によるが、ただ単に科学者になるための物でなく、プログラミング教育から①想像力②集中力③観察力④空間認識力⑤論理的思考力⑥プログラミング能力などが生まれる。

答（教育次長） IT教育は考えていない。子供たちを呼び込みたいとの中で、郡内保育園では、IT教育はやっていない。小学校では、王小も三岳小との交流でプログラミングの授業が始まっているが、まだ、その段階ではないとのこと。

問（三浦清） 今後考えてほしい。講師などの心配があるかと思うが人口を増やすことが一番の趣旨であり前向きに進むことを期待する。

令和元年 木曽広域連合第1回臨時会報告

令和元年5月17日 午後1時30分開議

統一地方選挙に伴い議員の入れ替えがあったため、議長と副議長の選挙、議席の指定、常任委員会の選任、議会運営委員の選任が行われた。選挙の結果、議長に木曽町選出の棚本 力議員、副議長に下出謙介議員がそれぞれ選出された。

＜提出された議案＞

1. 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度一般会計補正予算（第5号））
2. 承認第2号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度一般会計補正予算（第6号））

3. 報告第1号 平成30年度木曽広域連合一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

4. 議案第11号 工事請負契約の締結について（平成31年度木曽地域高度情報化網光化促進事業）

5. 同意第1号 監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて

6. 同意第2号 監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて（木曽広域連合議会議員からの選任）

7. 選挙第1号 選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

以上すべて異議なく可決された。

令和元年 木曽広域連合第2回定例会報告

令和元年6月4日 午後2時開議

＜提出された議案＞

1. 議案第12号 木曽広域連合職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正について

・人事院規則の改正により職員の時間外勤務命令の上限規制が導入されることに伴い、所要の整備を行うもの。

2. 議案第13号 木曽広域連合火災予防条例の一部改正について

・違反対象物に係る公表制度に関する総務省消防庁次長通知により、木曽広域連合火災予防条例の一部を改正するもの。

3. 議案第14号 木曽広域連合消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部改正について

※賞じゅつ金－公務を遂行すべく活動する中で負傷したり死亡したりした者へ、その行為を称えて国から給付される金。賞じゅつ金の制度は、自衛官、警察官、消防職員といった、生命の危険を伴うことのある職において設けられている。別表記「賞恤金」

・非常勤消防団員等に係る損害補償の支給等に関する省令の一部改正により改正するもの。

4. 議案第15号 木曽広域連合介護保険条例の一部改正について

・令和元年10月の消費税率10％への引き上げに伴う低所得者の介護保険料の公費軽減強化の実施拡

大にあたり、所得段階の第1、第2、第3段階の介護保険料率を定めるもの。（令和元年度の介護保険料額は、所得段階に応じて10段階となる）

5. 議案第16号 令和元年度木曽広域連合一般会計補正予算（第1号）

・補正額は1,627千円の増で、補正後の予算総額は4,068,170千円。主な歳出関係としては、人事異動に伴う人件費補正として3,230千円の増。

6. 議案第17号 令和元年度木曽広域連合介護保険特別会計補正予算（第1号）

・補正額は5,164千円の減で、補正後の予算総額は4,269,883千円。主な歳出関係としては、人事異動に伴う人件費補正として5,551千円の減。

以上6議案を全て原案通り可決し閉会した。

（全員協議会）

1 光化（FTTH化）事業の進捗状況について（報告）

2 旧南部クリーンセンター解体工事完了（報告）

3 木曽クリーンセンター可燃ごみ排出量及び排出ガス等の計測結果（報告）

4 木曽寮移転改築基本構想について（報告）

総務文教常任委員会報告

5月8日、王滝村社会福祉協議会との懇談会を行った。出席者は常任委員会6名と中嶋事務局長ほか職員4名、福祉健康課職員2名。

人材の確保、持続可能な介護サービスを提供する体制のあり方など、先延ばしできない課題を多く抱えていた。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう課題を共有していくこと、村全体の福祉の方向性に検討が必要だと感じた。今後も社会福祉協議会と定期的に話し合いを行っていきたいと思う。



社会福祉協議会との懇談会（5/8）

産業建設常任委員会報告

5月23日、春山村有林で中学校生徒や役場職員など約50名が参加し育樹作業を行った。

子どもたちと除伐や枝打ちなどの作業を通じて自然とふれあい、森林の大切さを体感することができた。傾斜地での作業だったが怪我もなく無事、終了した。



育林作業（5/23）



春山から見た御嶽山（5/23）

請願と陳情

6月定例会で審議された請願・陳情等の採決・不採択状況は下記のとおりです。

●辺野古新基地建設中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転の国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書採択を求める陳情（資料配布）

●新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について（採 択）

固定資産評価審査委員

○王滝村固定資産評価審査委員会委員に
下田 君行氏（二子持区）が議会の同意を得て選任された。

任期 令和元年8月1日から
令和4年7月31日まで

《 編 集 後 記 》

今年も田の原から何回か御嶽山に登っているが、その都度ライチョウの姿を見かける。去年見かけた雛たちが大きくなったのか、親鳥なのかはわからないが、ここ数年、数は増えているような気がする。王滝口は今のところ九合目での規制が続いており、山頂まで登ることはできないが、それでもその間、景色を楽しみながら、そしてライチョウに出会えるかもしれないと期待しながら登るのも楽しいものである。（広）



議会日誌

- 4月 4日 中学校入学式
- 5日 保育園入園式
- 9日 長野県町村議会議長会役員会（長野市）
- 15日 議会だより（144号）発行
- 17日 名古屋市観光文化交流局来村
- 19日 王滝村公共施設等総合管理計画（答申）
氷ヶ瀬大山神社例祭
- 22日 王寿会総会（保健センター）・第3回
全員協議会
- 25日 例月出納検査（3月分）
- 26日 PTA転入教職員歓迎会
- 27日 御嶽山奉賛会総代会（御嶽神社）
- 5月 1日 慰霊大祭（里宮）・招魂社慰霊大祭
（八幡堂）
- 8日 社会福祉協議会との懇談会・総務文教
常任委員会・第1回議会全員協議会
- 10日 木曽郡町村議会議長会、歓送迎会
（木曽町）・故 滝重則氏 神葬祭
- 17日 木曽広域連合議会臨時会（木曽町）
- 20日 木曽町商工会通常総会（木曽町）
- 22日 県道王滝・加子母・付知線改良促進
期成同盟会総会（中津川市）
木曽広域連合議会 議会運営委員会
総務常任委員会、福祉環境常任委員会
経済観光常任委員会（木曽町）
- 23日 議会育樹作業（春山）・長野県町村
議会議長会臨時役員会（長野市）
- 25日 王滝ふれあい運動会・長野県知事来村
- 27日 第3回 議会運営委員会・第2回議会
全員協議会
- 28日 例月出納検査（4月分）
- 28日～29日 全国町村議会議長・副議長
研修会（東京都）
- 6月 2日 鳳泉寺 晋山式
- 3日 長野県町村議会議長会臨時総会、役員会
（長野市）
- 4日 木曽広域議会定例会（木曽町）
- 6日 第4回全員協議会
- 9日 第20回禁煙友愛会王滝支部総会
- 11日 木曽郡防犯協会連合会総会（木曽町）
- 12日 村議会6月定例会開会（1日目）
- 19日 村議会6月定例会開会（2日目）
- 21日 社会福祉協議会理事会
- 23日 郡消防ポンプ操法大会（南木曽町）
- 25日 木曽郡町村議会議長会・例月監査
（5月分）
- 26日 御嶽山噴火災害犠牲者慰霊碑建立実行
委員会（木曽町）
- 28日 木曽おんたけ観光局総会（木曽町）

発行／王滝村議会
編集／議会だより編集特別委員会

長野県木曽郡王滝村三六二三
TEL 〇二六四・四八・二〇〇一